

第32回 全国公民館セミナー

新しい時代の講座づくり②

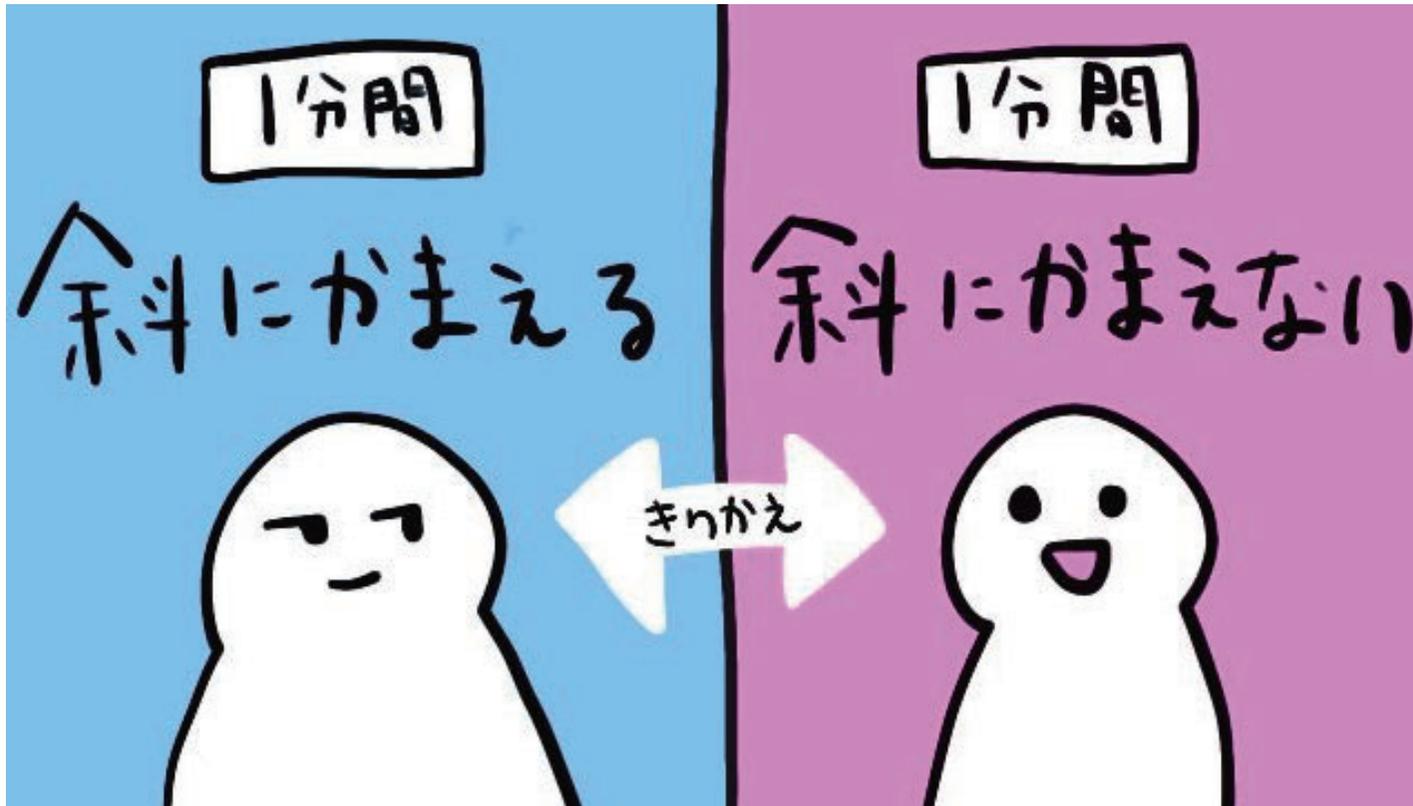
～「企画づくりのじゃばら手帳」の考え方～

WAKASA

那覇市若狭公民館 指定管理者
NPO法人地域サポートわかさ
館長 宮城 潤

デイリーポータルZ

「斜にかまえる、かまえないを1分ごとに切り替えるとどうなるか」 (與座ひかる)



https://dailyportalz.jp/kiji/sya_ni_kamaeru-kamaenai



地域課題が多様化・複雑化する現代

こどもの貧困

環境美化

感染症予防

格差の拡大

防災・防犯

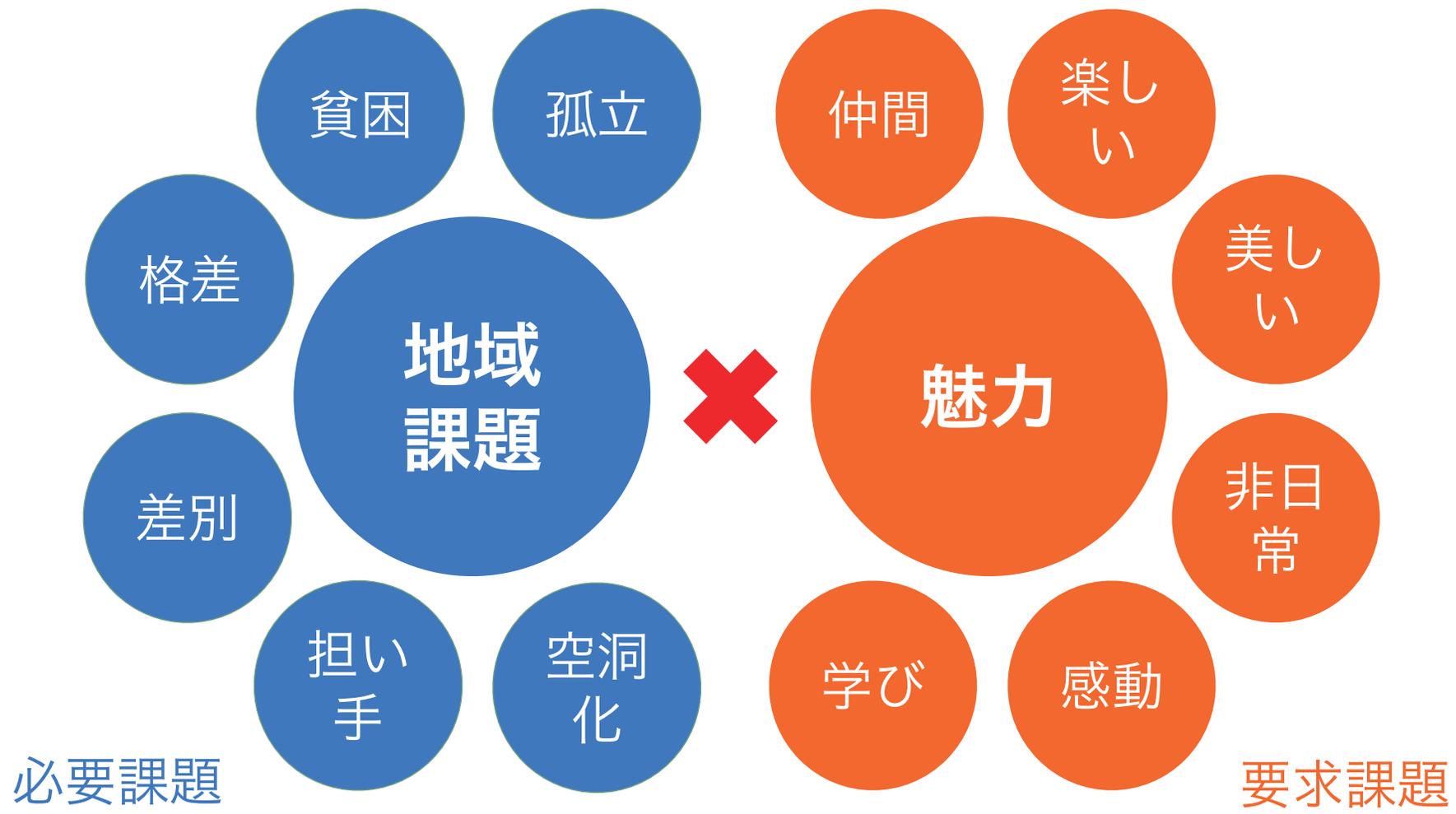
孤立

地域の担い手不足

地域コミュニティの
希薄化

こどもの居場所

独居高齢者の
見守り



沖縄県内の 公立公民館 実態調査 2015-2016



沖縄県内の公立公民館対象に「ユニークな事業」に関する調査を実施。

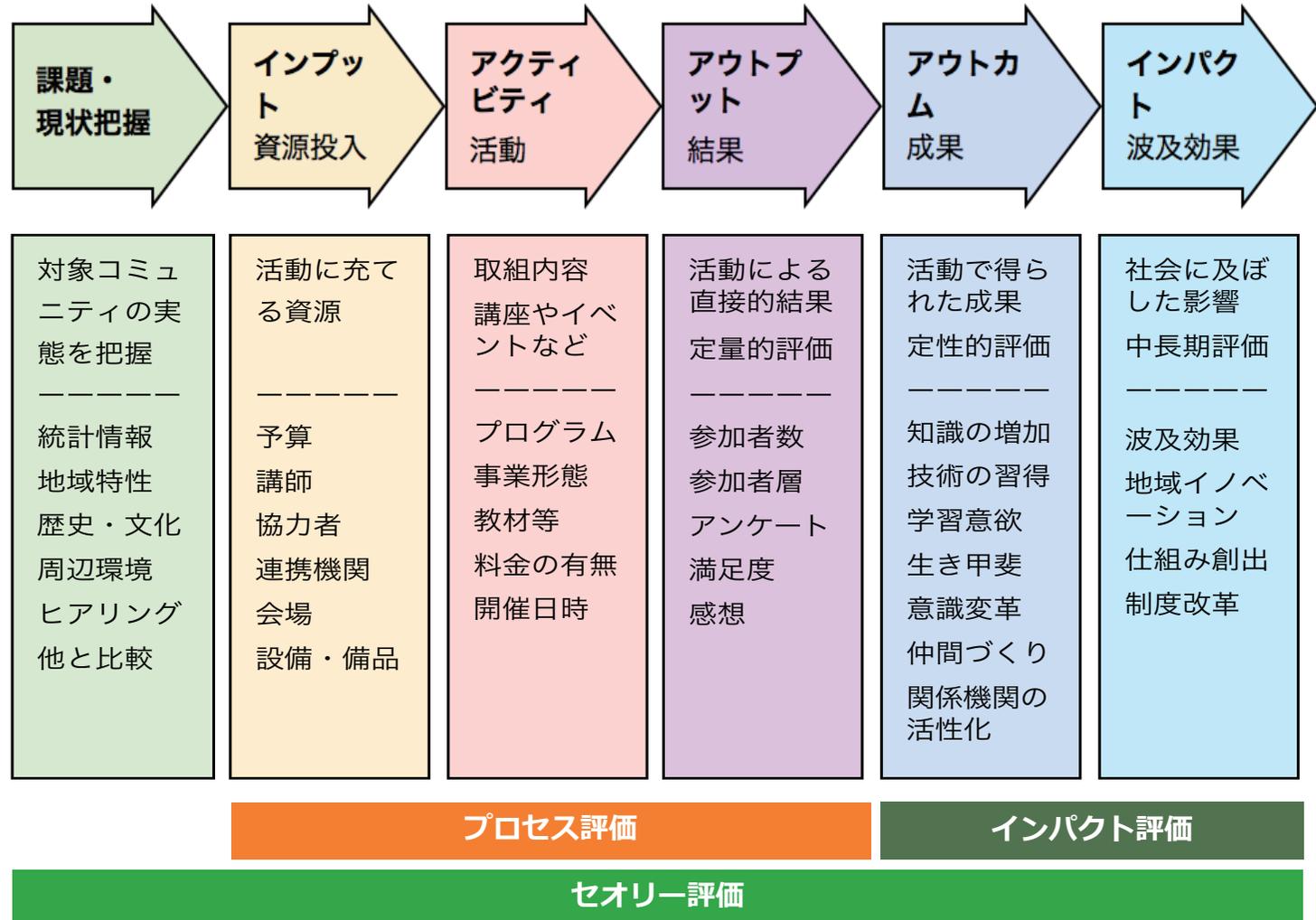
公民館職員へのアンケートや利用者ヒアリングを行い、公民館の現状や課題について把握。

仮説を立て、課題解決に取り組むことに。

実態調査で 見えてきた 現状と課題

- **利用者は固定化**しており若者の参画を求めているが
広報に関する課題意識が低い
- 事業に関する課題、運営に関する課題ともに、全項目
で「**どちらとも言えない**」という回答が**最も多い**
- 専門知識を持った**経験豊富な職員の不足**
- 職員異動などにより**事業企画のノウハウや
ネットワークの蓄積が困難**

ロジック モデルと 事業評価





木陰がキレイ！
学校の近くに
すてきな公園。



歩きながら、
昔の思い出話を
教えてもらったり。



古い地形に想いを馳せて
歩いたり、発見したり。



学校のミーティングルームを
地域の人に開放しているんだね。



「フィールドワーク」という
視点で町を見ると発見がたくさん！

那覇市曙地域では

- 人口 7868 名
 - 高齢者率 24.2%
 - 自治会加入率 9.7%
 - 年少人口率 12.2%
- (統計那覇より H29.9)
(那覇市自治会情報 H29.9)

1
(07
08)

ポイントの具体例



パーラー公民館の事例

はじめに、地域を知ろう

「パーラー公民館」を設置した曙地区のことを知るために、統計情報や昔の地図を調べたり、地域の方と一緒にフィールドワークを行いました。また曙願寿会会長さんはじめ、曙小学校区まちづくり協議会会長さん、曙小学校校長など地域の方々にヒヤリングも行いました。



📱 動画でも見ることができますよ！

パーラー公民館「曙フィールドワーク」
<http://cs-wakasa.com/program/archives/2352>



1



公民館づくりのポイント

はじめに、
地域を知ろう！

地域を知ること
見えてくること。
それは「ニーズ」です。



2 (09・10) ポイントの具体例

パーラー公民館の事例

顕在的

「働き盛り世代に
まちづくりに
参加してほしい」

「女性に
安全な場所がほしい」

主観的

「公民館がほしい」

客観的

「地域力を高めたい」

潜在的

「出会う場がほしい」

「場をつくれる人がほしい」

**人が集まりたくなる場
(本当のニーズ)**

地域課題の仮説を立ててみよう

「公民館がほしい」という声(ニーズ)が聞こえてきました。どうして「公民館がほしい」のでしょうか。本当に必要なのは公民館のどんな機能なのでしょう。

複数のニーズの共通点からみてきたのは、「人がつながる場をつくりたい」というニーズ。そこから出会う場がないこと、場をつくれる人がいないことが課題ではないかと仮説を立てました。



2 公民館づくりのポイント

地域課題の仮説を立ててみよう

「仮説」にするためには、

- 「ニーズの背景を知ること」と
- 「複数のニーズの共通点をみつけること」が大切です。

ニーズには4つの種類があります。

ニーズの種類

顕在的

↓

客観的 ⇒ **本当のニーズ** ← **主観的**

↑

潜在的



3 (11・12) の具体例



パーラー公民館の事例

課題解決後の状況をイメージする

さまざまな世代が集まり、地域でいろんな活動が生まれること。それが暗地区のみなさんが必要としている地域の理想のイメージなのではないかと考えたのです。

子どもたちがのびのびと公園で遊んでいる。

お年寄り子どもたちが顔見知りになり、親しくしている。

地域の清掃活動に取り組む人が増えるなど



3



公民館づくりのポイント

課題解決後の状況をイメージする

ポイント2で見えてきた地域の課題が解決したあとの状況をイメージしてみましょう。できる限り具体的なイメージを思い浮かべてみるのが大事です。



人が集まるところ
昔あった
紙芝居屋さん
みたいな
ひみつ基地
みたいな場所が
あるのもいいなあ。
Coco's cafe

公園が使えるよ
黒板があるといいな
カフェみたいな
雰囲気がいいね

昔、青空公民館って
いうのがあったよ
みんなが学べる

屋台を使って
オモシロい活動を
している人がいるよ
ピクニックって
楽しいよね
キャンプ
したいな
お祭りの
お祭り

アイデアを生み出す
「パーラー公民館」が生まれるまでには、
いろいろなアイデアを出し合いました。

4
公民館づくりのポイント

アイデアを生み出す

イメージを実現するために、
できる限りいろんなアイデアを
考えてみましょう。
まずは、質より量！
ちよつと難しい部分があったとしても、
それがユニークなアイデアなら
「やってみよう！」という気持ちになります。

5 (15・16) の具体例

ポイント パーラー公民館の事例



共有空間 水りのつ
小、山田 各育文さん

地工場の大工さんや
クリエイティブな手書きをしている
うこのいたさん
High Timesさん



図が
できた!



パーラー公民館完成!!

近隣の国境から市長と
参加のオープンイベント



パーラー公民館の会長さん

動画でも見ることが出来るよ!

パーラー公民館「パーラー公民館をつくる(1)」
<http://cs-wakasa.com/program/archives/2396>



アイデアをカタチにする

アイデアをつめて実際にカタチにしていって段階で、
専門家にも入ってもらいました。専門家とお話なが
ら決めていくことで、イメージしていたものがさ
らにユニークで魅力的なカタチになっていきます。
設計・監修を **小山田徹さん** (美術家、制作をうえの
いださんと High Times さんに依頼しました。
また、オープンに向けては、地域の方々の協力が必要
不可欠です。曙小学校区まちづくり協議会、曙小学校
等に協力をお願いしました。

5

公民館づくりのポイント

アイデアをカタチにする

ポイント4で出したアイデアをカタチにするにあたり、
いろんな人・団体に協力をあおぎましょう。
いろんな協力によって生み出された活動は、
その後も楽しく自主的な活動へとつながるはずですよ。





移動式屋台型公民館
パーラー公民館

沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業
地域住民主体の「つどう・まなぶ・むすぶ」
創造拠点創出事業



徒歩圏内に公民館がない曙地区にて、アーティストの設計・監修による移動式屋台型公民館の活動を展開

曙にも
公民館が
ほしい！



曙地区の状況

自治会加入率 9.7% (那覇市19.0%)

生活保護率 7.8%

(全国1.71% / 沖縄県2.5% / 那覇市3.64%)

- ・自治会加入率が低く、地域コミュニティが希薄である
- ・高齢者率が高く、年少人口率が低い
- ・生活困窮率が高い
- ・公民館や児童館がなく、放課後の居場所がない
- ・社会教育施設や公共福祉施設がなく、多様な人が出会う場や特技を生かせる機会がない

アート

想像力・創造力を刺激

公民館

- 現代社会において、公民館のあり方を再考
- 公民館の可能性を開く
- 公民館の新しいカタチを提案

地域コミュニティ

- 地域課題に対する取り組み
- 多様な関係性や新しいつながりを生み出す
- 豊かな市民社会の実現

公民館の3つの機能

人が集い / 楽しく学びあいながら / 生活課題・地域課題に取り組む



集会と活用

つどう



学習と創造

まなぶ



総合と調整

むすぶ

「アート」が生み出す変化

地域に新しいつながりを生み出す芸術文化の力や芸術そのものの魅力を確認する



スタッフはなにもしない



市民が自治的に場を獲得するために必要となる想像力・創造力を刺激する

静と動・二つの時間

通常開館

+

ワークショップ





こども食堂



移動図書館／那覇市立若狭図書館



パーソナルサポートセンター



まちづくり協議会・小学校・PTA

お出かけパーラー公民館





公民館の新しいカタチ。Vol.1



曙についてワクワクしながら考える会。



みんなで考える公民館のこと。



モヤモヤ読書会。

活動を見える化して伝える

- ブログ、1分動画：毎回更新
- 広報誌「パーラー公民館だより」：月1回発行
- 「人が集まりたくなる場のつくり方とそだて方」
- 「パーラー公民館の3年間2017-2019」



子どもたちの協力



地域スタッフの誕生



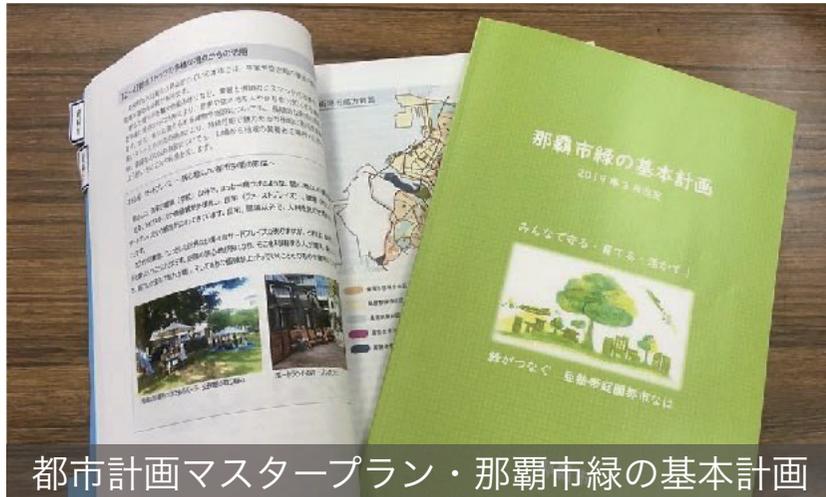
広がり と 成果

- 2017年8月 QAB、RBC放送 開館式の様子
- 2017年8月 OTV放送 「あちゃ〜ぬ地図ゆ」
- 2018年7月 OTV放送 オロナミンC天気予報CM
- 2018年8月 RBC放送 ZINE KIOSKお披露目会
- 2019年11月 RBC放送 「うちなー紀聞」
- 2020年2月 OTV 「ヒープー☆ホップ」
- 新聞掲載多数



広がり と 成果

- なは市民協働大学院にてモデル地域に
- 那覇市施策に反映：緑の基本計画
- 都市計画マスタープラン（那覇市）
- 第9回地域再生大賞 優秀賞受賞（共同通信社と地方新聞社）
- 第13回マニフェスト大賞・コミュニケーション戦略賞ノミネート
- 地方自治職員研修（公職研／2017年）掲載
- 公園・夢プラン2018（実現した夢部門）入賞
- 日経グローバルNo.370（2019.8.19）掲載



都市計画マスタープラン・那覇市緑の基本計画



なは市民協働大学院

広がり と 成果

- 全公連制作短編映画「公民館と私／可能性の物語り」
- 浜松市「あおぞら協働センター」開館
- 第40回全国公民館研修会にて生中継参加
- 業界専門誌「月刊公民館」「月刊社会教育」にて紹介
- 社会教育法制定70周年記念事業にて記念講演



広がり と 成果

- 海外から視察「りっかりっかフェスティバル」
- 東京藝術大学公開講座 講師
- アーツカウンシル新潟「語りの場」講師
- たんぽぽの家「アート化セミナー」パネリスト
- IAMAS情報科学大学院大学 パネリスト



アーツカウンシル新潟「語りの場」

東京藝術大学公開講座
「Meetingアラスミ！『新しい文化政策』を考える」

地域主体で 活動継続



コロナ禍における屋外での地域交流企画として月に一回開催

